

単元確認 | 代表値・度数分布・比較・調査の考え方を横断して確認しましょう。

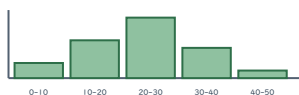
次の問いに答えなさい。

- データ6、8、7、9、10の平均値を求めなさい。
- データ12、5、9、7、10、13の中央値を求めなさい。

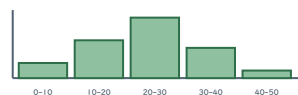
- データ18、24、15、27、21の範囲を求めなさい。
- データ3、5、5、6、7、5、8の最頻値を求めなさい。

- データ7、10、13、16、19、20、24で、10以上20未満の度数を求めなさい。
- 度数2、4、7、5、2の第3階級までの累積相対度数を求めなさい。

- 図Aで最頻階級を答えなさい。

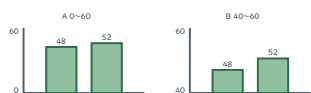


- 図Aで20以上40未満の相対度数を求めなさい。



- ある階級にA組9/25人、B組13/40人が入ります。割合が大きい組を答えなさい。
- A班4、6、7、8、20とB班5、6、8、9、10で、中央値が大きい班を答えなさい。

- 同じ48人と52人を示す図で、差を公平に説明する方法はどれですか。A:縦軸40～60だけを見る B:実数と0始まりの尺度も確認する C:棒の色だけで決める
- 全校の傾向を調べる方法として最も適切なのはどれですか。A:友人5人だけ B:希望者だけ C:各学年・各クラスから無作為に十分な人数を選ぶ



計算の途中過程と、データから判断できる範囲を確認しましょう。

問題と考え方

1. データ6、8、7、9、10の平均値を求めなさい。

答え:8

考え方:平均値=データの合計÷個数なので、合計40を5で割って8。

2. データ12、5、9、7、10、13の中央値を求めなさい。

答え:9.5

考え方:5、7、9、10、12、13と並べ、中央2値9と10の平均をとる。

3. データ18、24、15、27、21の範囲を求めなさい。

答え:12

考え方:範囲=最大値-最小値なので、 $27-15=12$ 。

4. データ3、5、5、6、7、5、8の最頻値を求めなさい。

答え:5

考え方:最頻値は最も多く現れる値。5が3回で最多なので5。

5. データ7、10、13、16、19、20、24で、10以上20未満の度数を求めなさい。

答え:4個

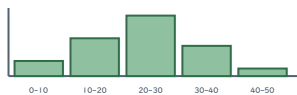
考え方:10、13、16、19の4個。上端20は含めない。

6. 度数2、4、7、5、2の第3階級までの累積相対度数を求めなさい。

答え:0.65

考え方:累積度数は $2+4+7=13$ 、総度数20なので $13\div20=0.65$ 。

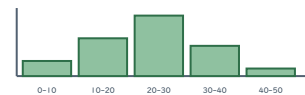
7. 図Aで最頻階級を答えなさい。



答え:20以上30未満

考え方:最も高い柱は度数8の20以上30未満。

8. 図Aで20以上40未満の相対度数を求めなさい。



答え:0.6

考え方:20以上40未満は $8+4=12$ 人、総数20人なので $12\div20=0.6$ 。

9. ある階級にA組9/25人、B組13/40人が入ります。割合が大きい組を答えなさい。

答え:A

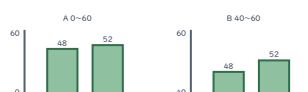
考え方:Aは0.36、Bは0.325。人数ではなく割合で比べるとA。

10. A班4、6、7、8、20とB班5、6、8、9、10で、中央値が大きい班を答えなさい。

答え:B

考え方:Aの中央値は7、Bは8。外れ値20に左右されずBが大きい。

11. 同じ48人と52人を示す図で、差を公平に説明する方法はどれですか。A:縦軸40~60だけを見る B:実数と0始まりの尺度も確認する C:棒の色だけで決める



答え:B

考え方:軸の切り取りで印象が変わるため、値48・52と0始まりの尺度を併せて確認する。

12. 全校の傾向を調べる方法として最も適切なのはどれですか。A:友人5人だけ B:希望者だけ C:各学年・各クラスから無作為に十分な人数を選ぶ

答え:C

考え方:母集団の構成を反映できるよう、学年・クラスをまたいで無作為に標本を選ぶ。